

こんどうせいりっかくつりとうろう  
「金銅製六角釣灯籠」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（工芸品） 昭和 48 年 3 月 15 日
- 所 在 地 千曲市大字八幡字社地 3012 番地-2 武水別神社
- 所 有 者 たけみずわけじんじや  
武水別神社
- 概 要 金銅製  
寸法 総高 51cm、台及び脚の長さ 6cm、火袋高さ 27.2cm、笠部吹返し径 26cm
- 時 代 江戸時代初期（17 世紀前半）
- 銘 文 等 柱に籠字で縦書きする。  
「奉寄進信州川中島更科郡八幡宮」  
「慶長十五年（1610）庚戌九月吉日」  
「大久保石見守長安敬白」
- 公 開 寺宝のため非公開

この燈籠は、銘文によって明らかですが、慶長 15 年、かいづじょうしゅまっだいらただる もりやく海津城主松平忠輝の傳役であつた大久保石見守おおくぼいわみのかみから八幡宮（現武水別神社）に寄進奉納されたものです。

おおくぼながやす大久保長安の寄進による金銅製燈籠で、歴史的価値は大きく、またこの年代のこのような釣燈籠は県内では戸隠神社旧蔵、現長野市善光寺山内王照院所蔵のものだけで、非常に貴重なものであり、また工芸的価値の優れたものです。

